

すべきでないこと 分かっている ことを すること



今日はまさにその日だった。 ブライアンはたとえ小さな事でも間違ったことはしないと決めていた。今日は完全に罪なしの日だった。

- 彼は兄弟げんかをしなかった。
- 彼は門限について父親に口答えしなかった。
- 彼は友だちから誘われても、学校の門を壊さなかった。

その日はうまくいっていた。文句を1つも言わずにパンを食べオレンジジュースを飲んだ。そして学校を出た。一晩中雨が降っていたので、道には水たまりがたくさんあった。ブライアンは考え事しながら歩いていた。すると男の子が自転車に乗って道を降りて来て水を跳ねたので、ブライアンはずぶぬれになった。そして1時間かけて作った「スパニッシュ・クラブ」のポスターも。

「このクソガキ！何ってことをするんだ！」とブライアンは叫んだ。

おっと！完全に罪なしの日は消え去った。




何が起きたのだろうか？なぜクリスチャンに正しいことをしようと思っているのに、時々間違ったことをしていますのだろうか。古い罪の性質について学んだことを覚えていますか？それが問題の原因なのです。使徒パウロでさえ、この罪の性質の問題を抱えていましたローマ7:15-19を読んで、パウロの葛藤を自分のことばで書いてみよう。

しかしその後のローマ7:25-8:1でパウロは神に感謝しています。その理由は

1. 神はキリストの十字架上の死によって、私たちの全ての罪を赦しそれらを忘れてくれる。

覚えて暗唱しよう

コロサイ2:13-14 — あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。



2. 罪を犯すことで、私たちが救われている事実が変わることはない。(ヨハネ 10:28-29, ローマ 8:38-39)

3. しかし、神に従わないとき、神の教えに聞き従っていたときに持っていた調和を失ってしまう。だから私たちは元に戻る必要がある。


神は、私たちの人生から全ての楽しみを奪い、苦しい人生を送るために規則を設けたのではありません。逆に、神は私たちを造られた方なので、楽しく、豊かで、平和な生活を送るために、私たちに必要な規則をよく知っています。だから私たちが自分勝手だったり、神が与えた規則を無視したりする時にうまくいかなくなるのです。

覚えて暗唱しよう

エペソ 4:22-24 — その教えとは、あなたがたの以前の生活について言うならば、人を欺く情欲によって減びて行く古い人を脱ぎ捨てるべきこと、

またあなたがたが心の霊において新しくされ、

真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。



このみことばは私たちがすべきことをうまく表現しています。私たちは古い罪の(間違っていることをしたがる)性質を脱ぎ捨てなければなりません。「脱ぎ捨てる」とは蒸し暑い日に上着を脱ぐ(脇に置く)ようなことを意味しています。

その後で、私たちは別の上着を着るように、キリストにある新しい人(正しいことをしようとする性質)を「着る」のです。それが「罪を犯した時に対処」する良い方法なのです。次のユニットを読んでみよう。

大変よくできました

〇付